

中国水保全関係者が滋賀県を訪問

—「琵琶湖モデル」の学びを生かす—

昨年同様、湖南省水環境保全部門の行政官と NGO 関係者が、7月4日から7月21日の日程で滋賀県を訪問し、滋賀県が実施する生活污水対策や環境教育を学びます。特に今回は、今までの学びを生かして新たに取り組んだ環境教育活動を発表し、同じように環境教育に取り組む県内の NGO の方々とその経験を共有します。

琵琶湖と洞庭湖という国を代表する湖を持つ2つの地域が交流を始めて35年。全国の都道府県の中で最初にSDGs（持続可能な開発目標）を県政に取り込む事を宣言した滋賀県ではありますが、実はSDGsが宣言される前から、水環境保全と経済発展の両立を図る「琵琶湖モデル」の中の取り組みの中で、持続可能な社会づくりを目指してきました。長年の交流でノウハウを学びつつある湖南省では、今、さまざまな水環境保全の取り組みが進み始めています。

今回の訪日研修は、2013年7月から2年8か月間行われた国際協力機構（JICA）草の根技術協力事業「中国湖南省における都市污水处理場運転管理技術と住民の環境意識の向上のためのプロジェクト」の成果を、污水处理率の低い地方に普及することを目的として2016年11月から開始したフェーズⅡの一環で行われます。事業では環境教育リーダーを育成し、市民や学生に対して環境教育活動を始め、またウェブサイトを開設しました。滋賀県での学びが、湖南省ではどのように生かされたのでしょうか？今度は滋賀県が彼らから、何を学ぶことができるのでしょうか？ぜひ取材をご検討ください。

【取材可能なプログラム】※取材をご希望される場合、必ず事前にご連絡をお願い致します。

7月11日(水) 9:00 - 11:30	水環境を守る市民活動の湖南省と滋賀県の交流 ・赤野井湾の水辺を守る取り組み（座学） ・ほたるの森資料館の役割（館内外の施設見学） ・中国湖南省での取り組みの紹介（意見交換） ・目田川での活動（フィールド視察）	場所：守山市ほたるの森資料館 担当機関：認定NPO法人 びわこ豊穰の郷 * 日中通訳対応
--------------------------	---	---

【本件に関する問い合わせ先】

JICA 関西 市民参加協力課 柴田

TEL : 078-261-0384 E-mail: Shibata.Takako@jica.go.jp